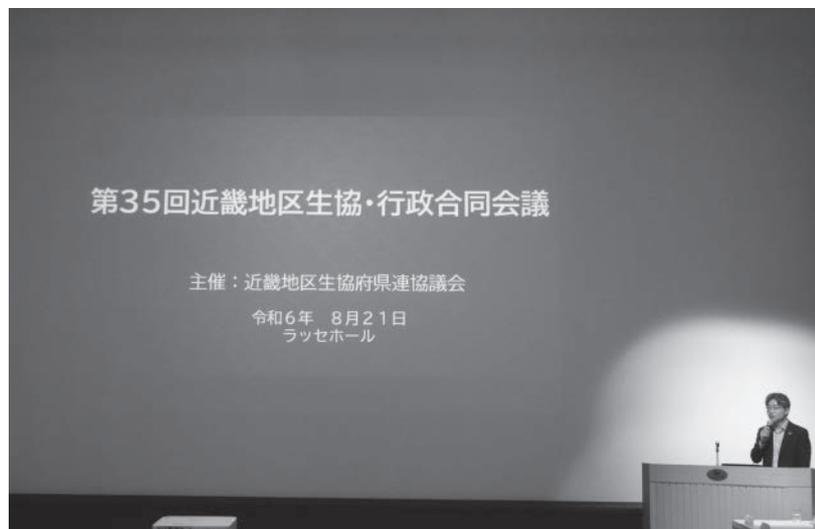




兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2024 **10**



「第35回近畿地区生協・行政合同会議」が開催されました。
「持続可能な社会の実現を目指した全国の生協の社会的取り組み」を報告する
日本生活協同組合連合会 渉外広報本部 執行役員本部長 松本 圭司氏



福井・滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山・兵庫の生協担当主幹部局、および各生協府県連の役職員ら32人が出席しました。





尼崎市民共済生活協同組合
理事長

赤川 孝平
(あかがわ こうへい)

ノスタルジーを感じながら

尼崎市は、昭和レトロな雰囲気が今なお残る街です。

私は、そんな街の尼崎市民共済生活協同組合に、この4月から務めています。あることがきっかけで「エッ！昭和やん」と思わず心の中で呟いていました。

そのことが良いか悪いかは別にして、私に昭和を懐古させたのが募集人さんの存在でした。

私が幼少期を過ごした昭和中期は「高度経済成長期」の真っ只中で、市民の生活の中にはまだまだ口座振替などといったものは浸透しておらず、お金を集めるという作業はもっぱら集金でした。小学生が学校にお金（給食代など）を持参していたから驚きです。

買い物といえば市場です。市場の良さは対面販売なので、コミュニケーションが図れ、必然的にお互いの信頼関係が築けていました。臉を閉じると今でも懐かしい市場の風景や活気が蘇ってきます。

さて、募集人さんは、組合員様のご自宅を一軒一軒訪問して集金します。そして、組合員様と対面で世間話などをしながら、新商品のセールスなどもします。それは信頼関係の上になり立っています。まさしく「The 昭和!!」です。

当組合の契約者様の年齢構成を見る

と、70歳以上の割合は、火災が74.3%。交通が73.8%です。高齢により歩行が困難になってきている方が、掛金の振込みにコンビニや郵便局に向向くには限界があります。

外出が減り、引き籠りがちになる高齢者の方々の中には、募集人さんが集金に来てくれることを楽しみにしている方もおられるでしょう。募集人さんは行政が進めている高齢者見守り活動にも十分貢献してくれています。

当組合の現状を鑑みますと、募集人さんという存在は必要不可欠です。現金を扱うといったリスクもありますが、今しばらくは募集人さんに頑張ってもらわなければなりません。

尼崎市民共済生活協同組合もおかげさまで、来年の1月には70周年を迎えます。

安全・安心は、いつの時代も私たちの日常生活の基盤です。特に、ご家庭や地域社会での安全・安心が確保されていると、より充実した生活が送れるのではないのでしょうか。

最後になりますが、これからも兵庫県生活協同組合連合会の皆様と連携を図りながら、市民の皆様への「安心の一助」となり、必要とされる共済の発展に全力で取り組んで参りますので、引き続きご支援とご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

CONTENTS

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 2. 想点 | 5. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 |
| 3. 第35回近畿地区生協・行政合同会議開催／兵庫 JCC 第9期 虹の仲間づくりカレッジ開催 | 6. 兵庫県生協大会／第27回監事研修会のご案内／県連行事予定／編集後記 |
| 4. 協同組合のかけ橋 | |

第35回近畿地区生協・行政合同会議 開催

テーマを「つながる力で安心して暮らし続けられる地域社会づくりをめざして」として、8月21日、第35回近畿地区生協・行政合同会議がラッセホール（神戸市中央区）で開催されました。近畿地区生協府県連協議会が主催となり、福井・滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山・兵庫の生協担当主幹部局、および各生協府県連の役員ら32人が出席しました。

最初に主催者を代表して、兵庫県生協連（近畿地区生協府県連協議会 代表）・岩山利久会長理事及び、開催地行政より兵庫県県民生活部 小谷寛和次長からあいさつがありました。

その後、厚生労働省社会・援護局地域福祉課消費生活協同組合業務室 小野博史室長、日本生活協同組合連合会渉外広報本部 松本圭司執行役員本部長からあいさつや報告がありました。

そして、特別報告として東京大学大学院農学生命科学研究科 鈴木宣弘特任教授のから「持続可能な食と農業に向けて、消費者ができること～日本の食料安全保障と生協の果たす役割～」と題して、食料自給に関する問題やそれに対して生協や協同組合ができることについて、熱のこもった刺激のお話をいただきました。

また4つの生協および団体から実践報告として、①「大学生生協との連携による安全・安心な地域社会づくり」兵庫県県民生活部県民躍動課消費政策班、②「学生委員会の活動」近畿大学生協学生委員会、③「つながり、ひろがる、豊かなくらしへ～持続可能な地域社会をめざして～」わかやま生活協同組合、④「KC's 活動報告」特定非営利活動法人消費者支援機構関西より報告があり、質疑応答を行いました。

近畿地区の生協・生協連と行政の交流だけでなく、学生も加わっての世代間交流も図ることができました。



小谷寛和次長



小野博史室長



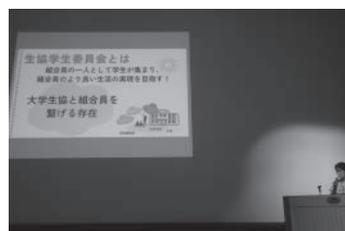
松本圭司
執行役員本部長



鈴木宣弘特任教授



近畿地区の生協連・生協職員や行政担当者が神戸に



「学生委員会の活動」近畿大学生協委員会

兵庫 JCC
第9期

虹の仲間づくりカレッジ開催

9月19日に、兵庫県民会館にて第9期虹の仲間づくりカレッジの2回目の研修が開催されました。8月6日・7日に開催された1回目に引き続き、同じメンバーで、課題についての深掘りや実践に向けた計画を練りました。

計画案の発表では、参加者同士で突っ込んだ質疑応答もあり、交流が深まりました。

第3回は2025年2月19日に開催され、それまでに各チームで実践をする予定です。



JF 兵庫漁連 SEAT-CLUB

今年も開催！ 2024年マリンスクール

コープこうべ・JF 神戸市・JF 兵庫漁連による協同組合の連携活動として毎年実施しているマリンスクール（2コース）が今年も開催され、参加した親子連れ（約131人）は楽しく漁業や県内産水産物について学びました。

第42回となる JF 神戸市コース（7月25～26日）では「せり市」を見学したり、「魚のつかみ取り」、「ヒラメ稚魚の放流」、「タコの塩もみ」などを体験したほか、兵庫の漁業と環境のつながりを学習しました。また、稚魚の放流では、神戸市立栽培漁業センターの協力で魚を増やすことの大切さを学びました。

一方、第14回目となる JF 兵庫漁連 SEAT-CLUB コース（8月2～4日）では「干しダコ作り」や「アジの三枚おろし」、「チリメンモンスター探し」、「兵庫の漁業と環境の学習」に挑戦しました。みなさん、普段あまり魚にふれる機会がないのか、どの内容も親子で一緒に目を輝かせて取り組んでいました。

どちらのコースも、大盛況のうちに終了し、とても楽しんでもらえたようです。

JF 兵庫漁連では、このマリンスクールを通して、漁業や水産物をより広く身近に感じてもらえるよう、今後とも取り組んでいきたいと考えています。



セリの説明



タッチプール



ちりめんモンスター



魚のさばき方実習

JA 兵庫みらい

ブランド黒枝豆 「ひかり姫」の名を広めたい

加西市の大橋麻世さんは、幼少期から家庭菜園に熱中していました。農業を職業にしたいと農業高校に進学し、卒業後に新規就農しました。現在は、約300aのほ場でブランド黒枝豆「ひかり姫」を栽培しています。

コロナ禍で日本酒の消費量が低迷し酒米を減産することになったため、大橋さんは代替作物としてひかり姫に注目し、加西市で初めて栽培を始めました。より多くの人にひかり姫を提供することがブランド力の強化に繋がると考え、毎年秀品で2,100kgの収穫量を目標に栽培管理に注力しています。

ひかり姫の収穫量を確保するため、開花前には大量の水分が必要となります。夕方からほ場に水を張り、朝方に抜く入れ替え作業を1カ月間続けます。これにより、10aあたりの花の数は、一般的なほ場よりも50個多い約350個を付けています。

また、収穫前に2回追肥することで、収穫期間を10日間延長しています。その結果、収穫量が約1,000kg増加し、昨年は収穫量の目標を達成しました。JA 兵庫みらい 加西営農生活センター 営農相談員 松末 啓司さんは「大橋さんは、収穫量の目標を達成した後も栽培方法の研究を続けており、将来的には有機栽培を実現したいと意気込んでいます」と話します。

大橋さんはブランド力強化のための取組みも行っており、大阪万博・関西万博の開催に合わせて「フィールドパビリオン」のプログラムにも参加する予定であり、ひかり姫の名を世界に発信していきます。





公開中

カラダで覚える！消費者トラブル回避体操

高齢者の消費者トラブルが依然として多く発生していることから、高齢者が消費者トラブルに巻き込まれないよう、気をつけるポイントを体操で身につける「カラダで覚える！消費者トラブル回避体操」を公開しています。



<消費者トラブルは、知識と体操で回避！>

「カラダで覚える！消費者トラブル回避体操」は、高齢者が特に巻き込まれやすい「お試し購入トラブル」、「セキュリティサポート」、「点検商法」、「ネットでの怪しい儲け話」の事例をもとに、気をつけるポイントとそのポイントを身につける体操を、全6編・計5分の動画にまとめています。また、特設サイトでは、動画とともに、イラストによる体操の解説や、体操時のワンポイントアドバイスも公開しています。LINEでシェアすることもできますので、身近な人へ体操の輪を広めましょう！

体操例（ネットでの怪しい儲け話）

ここが大事！

有名人の顔写真があっても信じないこと。

必ず儲かるという話は全て嘘！無視しましょう。

足を肩幅に開き、手は腰に

上体を90度右にひねる
目線は遠くへ

ゆっくり元の体勢に戻る

上体を90度左にひねる
目線は遠くへ

⚠️ 軸と反対側の足のかかとを浮かせることで腰の負担を軽減できる。

<特設サイト>

<https://188taisou.pref.hyogo.lg.jp>

消費者トラブル回避体操 検索



※特設サイトでの公開は令和7年3月末まで



適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。やっと身体が休まる気温になってきましたね。私は暑いのが苦手なので、やっと活動期に入った気持ちです。

さて、「SNS型投資詐欺」のお話をしていました。やっぱり、どのようなきっかけで被害に遭ってしまうのかを知っておくことは大切だと思うのです。ということで、もうひとつ警察庁のウェブサイトに掲載のある被害事例をみておきましょう。スマホでインターネットを見ていると著名人が投資を勧める広告を見つけました。広告をタップすると、SNSのアカウントを送信する画面が現れ、著名人(?)とSNSアカウントを交換することに。その後、著名人(?)から「私のアシスタントを紹介する。」と連絡があり、アシスタントともSNSアカウントを交換することになりました。「金の投資価値が高まっています」「今が投資のチャンスです」「必ず儲かります」「投資サイトを開設しましょう」と連絡があり、この話を信用して投資の専用サイトを開設し、指定された口座に振込んだところ、投資の専用サイトで運用利益が上昇。「先生(著名人)の指示ならもっと儲けることができます。」などと要求がエスカレートし、合計約6,300万円をだまし取られた、という被害です。これは著名人と直接連絡が取れるというところが少し怪しく感じますかね。ただ、昨今の投資ブームとあいまって、事実と嘘がわかりにくくなってきているように感じます。みなさまもどうかお気を付けて。



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

2024年度 兵庫県生協大会

つながる力で未来を拓く～平和で持続可能な社会の実現～

と き: **2024年10月24日(木)**

13:00~16:00 (12時間場)

ところ: **ラッセホール**

(会場が例年と異なります)

JR・阪神「元町駅」下車

東改札口から北へ徒歩7分

神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車

北東へ徒歩5分



催しのご案内

12:00~16:30 (式典、講演を除きます)

- 講師 安田菜津紀氏の書籍販売・サイン会
- 生協の商品紹介 (サンプル配布など)
- 健康チェック (血圧、握力、骨密度など)
- VR (仮想現実) ゴーグルで“防災・減災” “万一来る” 体験
- 賀川豊彦 関東大震災時の支援活動パネル展示

第1部 記念式典

- ◆主催者あいさつ 兵庫県生協連会長理事
- ◆来賓ごあいさつ 兵庫県知事 神戸市長 兵庫県議会議長
- ◆来賓紹介
- ◆生協功労者表彰 兵庫県知事感謝 兵庫県生協連会長表彰

主催/兵庫県生活協同組合連合会

神戸市中央区下山手通4丁目16-3 兵庫県民会館内
TEL (078)391-8634

第2部 記念講演

紛争地、被災地に生きる人々の声
～取材から見てきたこと～

講師 安田菜津紀氏



◆プロフィール
1987年神奈川県生まれ。認定NPO法人 Dialogue for People (ダイアログフォーピープル/D4P) フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『国籍と遺書、兄の手紙 ルーツを巡る旅の先に』(ハウレカ)、他。上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

◆定員/200人 (先着順)

◆入場料/無料

◆申し込み/各生協・兵庫県生活協同組合連合会まで

◆申し込み締切/10月4日(金)

※参加証の送付はありません

※諸般の事情により、やむを得ず中止、又は内容を

変更する場合があります。

※悪天候による交通状況で中止する場合は、当日朝

9時に兵庫県生活協同組合連合会ホームページに

掲載いたします。

兵庫県生活協同組合連合会

検索

兵庫県・兵庫県生協連共催 第27回監事研修会のご案内

生協の監事のみなさま・監事スタッフを対象にオンライン (Zoom) で研修会を実施します。

1. 日時 11月15日(金) 13:30~16:30
2. 対象 会員生協の監事、ならびに監事スタッフ
3. 開催手法 オンライン (Zoom) 申込者にご案内します
4. 内容 (1)「業務監査の考え方と実際～監査調書から監査報告へ」
日本生活協同組合連合会 渉外広報本部 法務部 井藤 康治氏
(2)生協の指導調査を実施して
兵庫県県民生活部県民躍動課消費政策班
(3)質疑応答

お申込み・お問い合わせは

生活協同組合連合会 メール: hyogo@kobe.coop.or.jp [10月24日 締切]

9月4日に兵庫県社会福祉協議会ひょうごボランティアプラザによる「災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議・災害ボランティアアコードイネーター研修」に参加しました。「令和6年能登半島地震における被災者支援」災害VCの運営・支援の連携をテーマに、ボランティアする側、受け入れる側、コーディネートする側、それぞれの方がリレートークとして、発災直後からの動きなどを話されていて、被災地支援の様子をより、立体的に知ることができ、非常に学びが多い場でした。その中で印象的だったことは「引き継いでいくのは、スキルではなく人脈」という言葉でした。スキルは一般的なビジネススキルで十分で、大切なのは顔が見える関係性をつないでいくこと、ということでした。人と人のつながりの組織である生協に携わる者として、勇気をもらえた気がします。

〈権藤〉

編集後記

県連行事予定

- 10月6日 うみかぜ音楽祭
- 10月7日 第3回理事会
- 10月11日 緊急通行車両担当者会議
- 10月15日 第2回監事会
- 10月24日 2024年度兵庫県生協大会